令和８年度

教育に関する事務の点検・評価報告書

〔令和７年度事業対象〕

佐野市教育委員会

はじめに

平成１９年６月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され（平成２０年４月１日施行）、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することとなりました。

これを受けて、佐野市教育委員会では、効果的で効率的な教育行政の一層の推進を図るとともに、市民に対する説明責任を果たすことを目的に、学識経験者の知見をいただきながら、佐野市総合計画及び佐野市教育振興基本計画で掲げた成果指標を踏まえ、令和７年度実施事業の点検・評価を行い、報告書を作成しましたので公表します。

令和８年９月
佐野市教育委員会

（参考）

〇地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第２６条（一部省略）

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

２　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

〇佐野市教育振興基本計画

第２次佐野市総合計画中期基本計画の策定に際し、本市教育行政の目指すべき方向性とその実現に向けた取組を明らかにすることを目的に、その教育分野の個別計画として策定しました。

計画期間は総合計画中期基本計画と同様に令和４年度から令和７年度までであり、基本的方向の進捗状況と各施策の成果を図る基準として、成果指標及び計画終了年度に達成すべき目標値を設定しています。

目　　次

１　点検・評価の対象及び方法 …… １

２　教育委員会事務局組織・機構図 …… ２

３　教育委員会活動 …… ３

４　教育振興基本計画に基づく成果指標達成状況と事業別考察

基本的方向１　特色ある教育と心の教育の推進 …… ５

施策１　確かな学力の育成に向けた教育の充実

施策２　豊かな心の育成に向けた教育の充実

施策３　健やかな体の育成に向けた教育の充実

施策４　グローバル化に対応する教育の充実

施策５　多様な教育的ニーズに対応した教育の推進

施策６　連続性・一貫性のある教育の推進

施策７　主体的に社会に関わる力の育成に向けた教育の推進

施策８　科学技術の基盤となる教育の推進

施策９　教職員の資質・能力の向上

基本的方向２　安全・安心で良好な教育環境の整備 …… １８

施策１０　市立学校の適正規模・適正配置の推進

施策１１　安全・安心で快適な学校施設の整備

施策１２　安全を守り、学びを保障する取組の推進

施策１３　教育の情報化の推進と情報セキュリティの確保

施策１４　学びのセーフティーネットの構築と充実

施策１５　教職員がいきいきと教育活動に取り組める環境づくり

基本的方向３　教育を支える地域づくりの推進 …… ２５

施策１６　「地域とともにある学校づくり」への体制整備の推進

施策１７　地域との連携・協働のための取組の推進

施策１８　家庭教育支援の推進

基本的方向４　生活を豊かにする生涯学習の推進 …… ３１

施策１９　生涯学習の情報や機会の提供

施策２０　生涯学習の成果を活かす取組の充実

施策２１　青少年の健全育成の推進

基本的方向５　スポーツへの参画の推進と次世代アスリートの育成　……　３６
施策２２　生涯スポーツの基礎づくりの推進
施策２３　次世代アスリートの育成の推進

基本的方向６　文化芸術活動の推進　……　３６
施策２４　文化芸術に触れる機会の充実
施策２５　文化資源の有効活用
施策２６　文化芸術施設の基盤強化

基本的方向７　歴史・文化資源、豊かな自然の継承と活用　……　３７
施策２７　歴史・文化資源の調査と適切な保存・継承・活用
施策２８　歴史・文化資源や豊かな自然への理解促進と人材育成

その他事業　……　４１

５　全体を通しての意見　……　４３

1　点検・評価の対象及び方法

（1）点検・評価の対象

点検・評価の対象は、教育委員会事務局各課が実施した全ての事務事業とした。

（2）点検・評価の方法

学識経験者の知見の活用を図るために、事務事業評価委員からの意見をいただいた。

令和７年度に佐野市教育委員会が実施した事務事業から、評価委員が選択した事業について、各課が考察した。

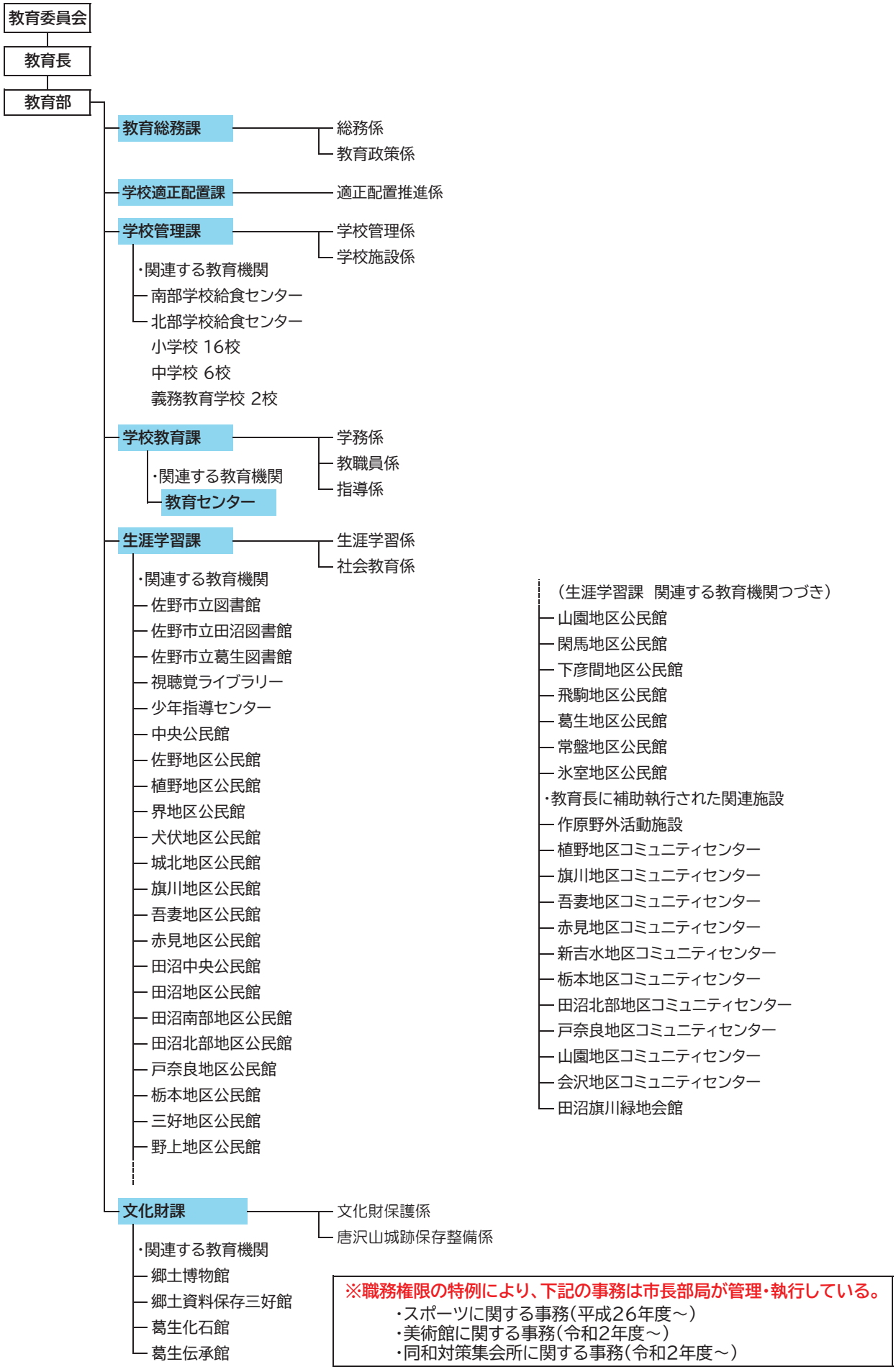
委員の方は次のとおりである。

（敬称略）

氏　名	経歴等
片柳　岳巳	元佐野市教育委員会委員
菅原　克己	元佐野市生涯学習部長
川俣はるみ	元佐野市立旗川小学校教頭

2　教育委員会事務局組織・機構図

令和7年度 教育委員会事務局組織及び教育機関・補助執行された施設



3　教育委員会活動

1　組織

・教育長１名、教育委員４名

職　名	氏　名	初就任年月日
教育長	津布久　貞　夫	令和2年5月19日 （令和2年5月19日教育長就任）
委　員 （教育長職務代理者）	駒　形　忠　晴	平成28年4月1日 （令和6年5月19日教育長職務代理者就任）
委　員	伊　藤　弘　教	令和2年11月1日
委　員	茂　木　郁　夫	令和5年5月19日
委　員	浦　野　祐　子	令和6年5月19日

2　教育委員会の活動状況

（1）委員会の開催

定　例　会 臨時会の別	開催回数	付議事件件数	
		議　案	報　告
定　例　会	１２	５６	１３
臨　時　会	２	６	０

（2）研修会等

事業名	期　日	場　所	内　容
佐野市教育委員会委員視察研修	令和７年 １１月１１日 （火）	大田区立御園中学校 分教室 みらい学園中等部	学びの多様化学校の概要について
栃木県市町村教育委員会連合会研修会	令和７年 １１月１９日 （水）	栃木県庁研修館講堂	「学びの多様化学校「白石きぼう学園」の教育について」 学びの多様化学校全国研究協議会長 宮城県白石市教育委員会 教育長　半沢　芳典　氏

安足地区市町村教育委員会連合会 教育委員研修会	令和８年 ２月５日(木)	葛生地区公民館 会議室	「佐野市における学校部活動の地域移行・地域展開」 講師：佐野市教育委員会教育総務課 部活動地域移行推進コーディネーター松島繁夫氏
		葛生化石館 葛生伝承館 吉澤記念美術館	展示鑑賞

（３）その他

学校訪問

	訪問日	訪　問　校
1	令和７年７月１７日	天明小学校、城東中学校、赤見中学校
2	令和７年１１月２１日	佐野小学校、植野小学校、南中学校
3	令和７年１２月１６日	犬伏東小学校、界小学校、葛生義務教育学校
4	令和８年１月１９日	田沼東中学校、あそ野学園義務教育学校

その他、二十歳のつどい、小中義務教育学校卒業式への出席

4　教育振興基本計画に基づく成果指標達成状況と事業別考察

佐野市総合計画及び佐野市教育振興基本計画で掲げた成果指標を踏まえ、成果指標達成状況の確認と事業別考察を行うものです。

計画の期間：令和４年度～令和７年度

基本的方向１　特色ある教育と心の教育の推進

施策１　確かな学力の育成に向けた教育の充実

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	令和７目標値	主管課
全国学力・学習状況調査の全国平均との比較(全国学力・学習状況調査)	コロナ禍のため未実施 R1 −0.5	−1.2	−2.6	−1.1	−1.4	−3.1	0.8	学校教育課
「学校の授業時間以外に普段、１日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。」に対する 30 分以上の割合（全国学力・学習状況調査）	コロナ禍のため未実施 R1 53.9%	36.7%	32.7%	35.5%	設問無し	28.8%	80%	学校教育課

施策２　豊かな心の育成に向けた教育の充実

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	令和７目標値	主管課
認知したいじめの解消率	66.7%	69.9%	69.6%	62.2%	80.2%	73.5%	100%	学校教育課
「道徳の授業では自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。」に対する「どちらかといえば当てはまる」以上の割合（全国学力・学習状況調査）	コロナ禍のため未実施 R1 87.7%	89.5%	86.7%	88.4%	91.1%	91.8%	95%	学校教育課
ＳＳＷの支援したケース数	100 ケース	83 ケース	85 ケース	72 ケース	68 ケース	76 ケース	100 ケース	教育センター

施策３　健やかな体の育成に向けた教育の充実

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	令和７目標値	主管課
新体力テストの平均得点の全国平均との比較	コロナ禍のため未実施 R1 -0.4	－0.7	－0.3	-0.3	-0.4	-1.2	1.9	学校教育課
「朝食を毎日食べている」に対する「あまりしていない」「全くしていない」割合（全国学力・学習状況調査）	コロナ禍のため未実施 R1 5.0%	7.2%	6.8%	7.9%	8.8%	9.1%	0%	学校教育課

施策４　グローバル化に対応する教育の充実

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	令和７目標値	主管課
英検３級程度以上の英語力を身に付けている生徒の割合	45%	41.3%	35.2%	41.0%	47.2%	49.3%	58%	学校教育課
「今までに受けた英語の授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていた」に対する「どちらかといえば当てはまる」以上の割合（全国学力・学習状況調査）	コロナ禍のため未実施 R1 小６ 項目無し 中３ 72%	小６ 77.9%	設問なし	中３ 68.7%	74.7%	設問なし	100%	学校教育課

施策５　多様な教育的ニーズに対応した教育の推進

【成果指標】

年度 指標	令和２ (2020)	令和３ (2021)	令和４ (2022)	令和５ (2023)	令和６ (2024)	令和７ (2025)	令和７ 目標値	主管課
市が特別支援教育に力を入れていると感じている市民の割合	40.2%	41.1%	43.8%	41.8%	43.0%	41.2%	45%	教育センター
アクティブ教室（R6 からみんなのまなびば）へ通室している児童生徒のうち在籍校に１回以上登校した児童生徒の割合	91.7%	81.3%	89.3%	95.7%	100%	100%	100%	教育センター
日本語指導が必要な児童生徒が日本語教室等で指導を受けている割合	72.3%	71.6%	82.3%	83.0%	81.6%	78.6%	80%	学校教育課

施策６　連続性・一貫性のある教育の推進

【成果指標】

年度 指標	令和２ (2020)	令和３ (2021)	令和４ (2022)	令和５ (2023)	令和６ (2024)	令和７ (2025)	令和７ 目標値	主管課
教科の接続等について、中学校と連携している小学校の割合（全国学力・学習状況調査）	コロナ禍のため 未実施 R1 76.9%	85.7%	66.6%	61.1%	55.5%	55.5%	97%	学校教育課
小中合同の授業研究などの合同研修を実施した学校の割合	65%	66.6%	41.4%	38.2%	100%	100%	70%	学校教育課

施策７　主体的に社会に関わる力の育成に向けた教育の推進

【成果指標】

年度 指標	令和２ (2020)	令和３ (2021)	令和４ (2022)	令和５ (2023)	令和６ (2024)	令和７ (2025)	令和７ 目標値	主管課
「将来の夢や目標を持っている。」に対する「どちらかといえば当てはまる」以上の割合（全国学力・学習状況調査）	コロナ禍のため未実施 R1 79.3%	75.4%	75.6%	73.5%	73.7%	75.8%	86%	学校教育課
「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。」に対する「どちらかといえば当てはまる」以上の割合（全国学力・学習状況調査）	コロナ禍のため未実施 R1 56.4%	51.4%	47.4%	―	―	―	70%	学校教育課
（※R5 より設問変更） 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。」に対する「どちらかといえば当てはまる」以上の割合（全国学力・学習状況調査）	―	―	―	72.4%	80.6%	75.5%	85%	学校教育課

施策８　科学技術の基盤となる教育の推進

【成果指標】

年度 指標	令和２ (2020)	令和３ (2021)	令和４ (2022)	令和５ (2023)	令和６ (2024)	令和７ (2025)	令和７ 目標値	主管課
「理科や算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えている。」に対する「どちらかといえば当てはまる」以上の割合（とちぎっ子学習状況調査）	コロナ禍のため未実施 R1 71.7%	67.5%	70.3%	68.9%	74.4%	74.3%	90%	学校教育課
情報教育アドバイザーの学校への訪問回数	387 回	454 回	417 回	403 回	331 回	354 回	300 回	教育センター

施策９　教職員の資質・能力の向上

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	令和７目標値	主管課
「授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた。」に対する「どちらかといえば当てはまる」以上の児童の割合（全国学力・学習状況調査）	コロナ禍のため未実施 R1 項目なし	86.0%	83.0%	84.0%	87.2%	82.5%	80%	学校教育課
授業に ICT を活用して指導することが「できる」「ややできる」と回答した教職員の割合	63.6%	71.8%	71.4%	75.6%	74.3%	79.9%	100%	教育センター

事業名　部活動地域移行推進事業　　課名：教育総務課

基本的方向		1　特色ある教育と心の教育の推進
施策		3　健やかな体の育成に向けた教育の充実
総合計画政策体系	基本目標	4　豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	1　豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
	施策	1　特色ある教育と心の教育の推進
	基本事業	1　生きる力の育成
事業概要及び実施状況		○事業概要 　中学校の部活動を地域に移行させていくため、地域指導員による指導を段階的に導入する。 ○実施状況 【令和７年度実施校】　５月～８月　田沼東中学校・あそ野学園義務教育学校・葛生義務教育学校、陸上競技部（全校合同） ９月以降　市内全校で実施 【活動回数】　土日祝日のうち月２～３回程度（年間２０回程度） 【活動時間】　３時間程度 【活動種目】　陸上競技、軟式野球、サッカー、バスケットボール（男女）、バレーボール（男女）、ソフトテニス（男女）、卓球（男女）、剣道、吹奏楽部 ※土日に活動している部活動全てを対象とする 【運営団体】　特定非営利活動法人たぬまアスレチッククラブ（総合型地域スポーツクラブ） ・研修会の開催（５月１７日、８月３１日） 参加者：運営団体の代表、実践校の関係職員、地域クラブ活動指導者 内　容：事業説明、救急救命講習 ・アンケート調査の実施（５月、１月） ・リーフレットの配布による情報提供 ・市ホームページでの事業紹介
考察		・教職員の負担軽減につながっている。（アンケート結果より） ・生徒は地域クラブ活動指導者の指導が専門的で分かりやすいと感じている。（アンケート結果より） ・保護者の費用負担は、今後協議していく。
委員からの意見		・保護者の費用負担について、急激な負担は難しいと思うが、現在検討しているけがをした際の保険料も含め、他の費用についても引き続き検討が必要だと思う。

事業名　学校給食アレルギー対策事業　　課名：学校管理課

基本的方向		１　特色ある教育と心の教育の推進
施策		３　健やかな体の育成に向けた教育の充実
総合計画政策体系	基本目標	４　豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	１　豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
	施策	２　安全で安心して学べる教育環境の整備
	基本事業	１　安全で快適な学校施設の整備
事業概要及び実施状況		○事業概要 　食物アレルギーの児童生徒に代替食を提供するための実施手順である「食物アレルギー対応の手引き」について、学識経験者や医師などの専門家を交えて検討を行い、食物アレルギーによる事故を未然に防止し、食物アレルギーのある児童生徒に、より安全安心な代替食の提供を行う。 ○実施状況 　食物アレルギーのある児童生徒の健康な生活及び健やかな成長を目的に、佐野市学校給食食物アレルギー対策委員会設置要綱に基づき「学校給食食物アレルギー対策委員会」を組織し、食物アレルギーのため毎日あるいは献立によって給食を食べることができない児童生徒に代替食を提供するための実施手順として策定した「食物アレルギー対応の手引き」についての検討や意見交換を行った。 【令和７年度　学校給食食物アレルギー対策委員会実施状況】 ・開催日時　令和７年１０月２１日（火） ・内容　「学校給食における食物アレルギー対応の手引き」の内容の検討 ・委員の構成　委員長（教育部長）、副委員長（学校管理課長）のほか、（１号委員）学識経験のある者 １名、（２号委員）佐野市 PTA 連合会に属するもののうち当該団体の推薦を受けた者 ２名、（３号委員）医師 １名、（４号委員）小学校、中学校及び義務教育学校の校長 ２名、（５号委員）養護教諭 ２名、（６号委員）栄養教諭又は学校栄養職員 ２名 合計１２名（委員会当日の出席者数　１２名　欠席者数　０名） ・事業費　委嘱した委員のうち、学識経験者、佐野市 PTA 連合会代表者、及び医師の合計４名に対し、謝金として、１人あたり５，０００円、合計２０，０００円を報償費より支出
考察		・「食物アレルギー対応の手引き」の検討を行うことにより、食物アレルギーをもつ児童生徒に、より安全安心な学校給食を提供することができた。
委員からの意見		・食物アレルギーは慎重なことが必要だと思うが、きちんと対応していると感じた。 ・今まで大きな事故がないのは、一生懸命やってくださっているおかげだと思う。アレルギーで命を落とす人もいるため、しっかりやっていただいていてありがたい。これからも頑張っていただきたい。

事業名　小学校部活動指導者派遣事業　　課名：学校教育課

基本的方向		１　特色ある教育と心の教育の推進
施策		３　健やかな体の育成に向けた教育の充実
総合計画政策体系	基本目標	４　豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	１　豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
	施策	１　特色ある教育と心の教育の推進
	基本事業	１　生きる力の育成
事業概要及び実施状況		○事業概要 専門的な技術指導力を備えた地域の指導者を小学校・義務教育学校の部活動に派遣し、競技の技術力の向上を図り、部活動を支援する。 ○実施状況 ①派遣対象　専門的な技術指導力を備えた顧問がいない部活動 ②派遣校　５校　・城北小（陸上）・赤見小（吹奏楽）・石塚小（吹奏楽） ・田沼小（金管バンド）・葛生義務（合唱、吹奏楽） ③外部指導者　８名　・城北小（１）　・赤見小、石塚小（１） ・田沼小（３）　・葛生義務（３） ④派遣回数　延べ１３１回　（上限は一人２５回） ⑤経費 ⑴指導者に要する謝金については、１回につき２，０００円を市が負担し、派遣終了後に支払う。 令和７年度支払額　２６２，０００円 ⑵指導者は全員保険に加入する。加入手続き及び経費負担は市が行う。
考察		指導者を派遣した学校からは、以下のような成果が得られたと報告があった。 ・部員が自覚をもって演奏し、自己肯定感を高めることができた。 ・陸上の大会で多くの児童が入賞し、運動に対する自信をつけることができた。 ・管楽器・打楽器について個別に指導をしていただき、効果的に演奏技能を向上させることができた。また、全体練習時においても細かい部分まで指導をしていただき、曲全体の仕上がりを向上させることができた。 ・児童の演奏技能の向上やバンドの合奏力の向上が見られた。 専門的な知識と指導力を備えた地域の指導者を指導経験が浅い顧問の担当する小学校の部活動に派遣することで、児童の競技力や演奏の技能の向上を図ることができた。さらに、教員の働き方改革にもつながる。
委員からの意見		・小学生は種目への向き不向きの方向性も定まっていないため、教員が指導できる範囲で部活動の実施は可能であると思う。専門的な指導を通して子どもたちの興味、関心を高められるよう取り組んでいただきたい。 ・専門的に、かつ児童が楽しみながら活動できることは大切だと思う。

事業名　日本語教室事業　　課名：学校教育課

基本的方向		1　特色ある教育と心の教育の推進
施策		4　グローバル化に対応する教育の充実
総合計画政策体系	基本目標	4　豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	1　豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
	施策	1　特色ある教育と心の教育の推進
	基本事業	1　生きる力の育成
事業概要及び実施状況		○事業概要 　佐野小学校内に日本語教室を設置、日本語教室指導員を任用して、佐野小学校籍の外国人児童及び市内小・中・義務教育学校に在籍する通級児童生徒、外国児童生徒教育拠点校の児童生徒への日本語指導、教科の補充指導、日本の生活習慣に関する指導等を行う。 ○実施状況 ①拠点校５校：佐野小学校、植野小学校、天明小学校、犬伏小学校、城東中学校 （拠点校ではないが、犬伏東小学校にも日本語教室を設置している。） ②活動内容 (1)新入学児童保護者説明会　4 月 9 日（水)、10 日（木） 【会場】市役所、城東中学校（城東中学校入学者のみ） 【参加人数】10 名程度 (2)市外国人児童生徒教育連絡会議　5 月 20 日（火） 【会場】佐野市教育センター3 階大会議室 2 【参加者】外国人児童生徒が在籍する小・中・義務教育学校の教員、外国人児童生徒教育拠点校の担当者、佐野市日本語教室指導員及び指導助手、外国人児童生徒教育に興味関心のある教員 【参加人数】33 名 【内容】〈全体会〉　各日本語教室の運営及び現状等について 〈講話〉演題「やさしい日本語」 講師　栃木県国際交流協会　熊倉　百合子　先生 〈情報交換及び協議〉外国人児童生徒の学習や生活の様子等について

	(3)日本語教室進学ガイダンス　7月4日（金） 【会場】佐野市中央公民館 【参加者】佐野市内の小・中・義務教育学校に在籍する外国人児童生徒およびその保護者、外国人保護者、市内の教職員等で外国人児童生徒教育に関心がある方 【参加人数】20名程度 【内容】・母国語別に進学についての説明 （ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語、タガログ語、やさしい日本語） ・日本の教育制度について・各種高校等の説明（公立、私立、定時制、費用など）・進路決定までの流れについて・推薦(特色選抜)入試について・卒業生による進学体験 (4)日本語教室合同校外学習　10月6日（月） 【会場】AGF群馬工場見学、ぐんまこどもの国 【参加者】日本語教室通級児童生徒・日本語教室担当者 【参加人数】児童生徒50名 (5)日本語教室担当者会議　参加人数…各回11名　5回開催 【内容】1年間の予定を確認、行事の打合せと準備、次年度の予定を確認 【開催日】4月10日（木）、5月20日（火）、6月19日（木）、 9月22日（月）、2月20日（金）
考察	・本市の外国人児童生徒は、増加傾向にある。本事業の各行事が、外国人児童生徒への指導、保護者との連携、教員間の共通理解に関して効果を発揮している。 ・拠点校以外の外国人児童生徒の増加に伴う指導員不足や、多国籍化に伴い、対応せねばならない言語の増加が課題として挙げられる。
委員からの意見	・すべての母国語に対して完璧に対応するのは難しいと思う。日本に親しんでもらうためには児童生徒にも努力をしていただく必要があると思うが、引き続き、日本語指導が必要な児童生徒への支援に努めていただきたい。

事業名　不登校児童生徒支援教室運営事業　　課名：教育センター

基本的方向		1　特色ある教育と心の教育の推進
施策		5　多様な教育的ニーズに対応した教育の推進
総合計画政策体系	基本目標	4　豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	1　豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
	施策	1　特色ある教育と心の教育の推進
	基本事業	1　生きる力の育成
事業概要及び実施状況		○事業概要 　不登校児童生徒が社会的自立の基礎となる力を身に付けることを目指し、個々に応じた指導・支援を行う不登校児童生徒支援教室「みんなのまなびばアクティヴ・マイルーム」を運営する。 ○実施状況 ・通室した児童生徒：２７名（Ｒ６　１８名） アクティヴ：１６名（小学校課程２名、中学校課程１４名） ※新規通室者１０名 見学・体験（正式通室者除く）１８名 マイルーム：１１名（小学校課程４名、中学校課程７名） ※新規通室者１０名 見学・体験（正式通室者除く）１８名 ・勤務する職員 アクティヴ：吾妻小学校教諭１名（月・木・金−１名、火・水−１名） 会計年度任用職員（支援員２名） マイルーム：あそ野学園教諭１名（月・火−１名、水・木・金−１名） 会計年度任用職員（支援員２名、施設担当１名） ・支援員の勤務態様：１日６時間、年間２０３日の勤務 ・活動内容：≪個人の活動≫ 教科学習、読書、イラスト描き、パズルブロック、１人１台端末での学習（プログラミング・タイピング・在籍校の授業に参加）など。 ≪小集団での活動≫ 緑化・農園活動、運動（バドミントン・バスケットボール）カードゲーム、制作、調理実習など。 ≪校外学習・体験学習≫ いちご狩り、ハイキング、工場見学、天明鋳物・茶の湯、和菓子作りなど。 ・開室時間：９時～１６時
考察		・通室生２７名の内、３月時点で通室日数が０日の通室生は２名のみである。一人一人の状況に合わせた体験通室期間を設け、スモールステップで進めることが、安定した通室につながっているものと考えており、今後も継続したい。 ・不登校児童生徒・保護者向けのイベント（みんなのがくや・不登校支援フォーラム）案内のため、さくら連絡網で全登録者に一斉配信する際には、みんなのまなびばの見学申込みフォームも掲載している。今後も適宜周知に努めていきたい。
委員からの意見		・アクティヴやマイルームのイベントが工夫されていて素晴らしいと思う。 ・引き続き、学校に通えない子どもの気持ちに寄り添った取組をお願いしたい。

事業名　小中学校適正配置推進事業　　課名：学校適正配置課

基本的方向		１　特色ある教育と心の教育の推進
施策		６　連続性・一貫性のある教育の推進
総合計画政策体系	基本目標	４　豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	１　豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
	施策	２　安全で安心して学べる教育環境の整備
	基本事業	２　小中一貫校の推進
事業概要及び実施状況		○事業概要 　少子化の進展に伴う複式学級の発生、学校施設の老朽化などの教育環境の変化に対応するため、「佐野市立小中学校適正規模・適正配置基本計画」等に基づき、小中一貫校の整備を進める。 ○実施状況 （１）計画の策定 　佐野市立小中学校適正規模・適正配置基本計画策定懇談会を開催した。 　佐野市立小中学校適正規模・適正配置基本計画(後期計画)改定版を公表した。 （２）視察受入れ(現地対応分のみ) 　令和７年　７月　７日　鹿沼市教育委員会（葛生） 　令和７年　８月２１日　塩谷町教育委員会（葛生） 　令和７年１１月２０日　福島県郡山市湘南小学校（葛生） 　令和７年１２月　１日　群馬県千代田町教育委員会（あそ野） 　令和７年１２月２２日　長野県上田市教育委員会（あそ野・葛生） 　令和８年　２月　５日　長野県小諸市教育委員会（あそ野） （３）先進地視察 　令和７年１０月１６日　八王子市立いずみの森義務教育学校（施設一体型義務教育学校） （かえで義務教育学校開校準備委員会委員及び城東中学校区小中一貫校開校準備委員会委員ほか計２１名参加　）
考察		・佐野市立小中学校適正規模・適正配置基本計画(後期計画)改定版に基づき、次年度以降も小中一貫校の整備を推進する。
委員からの意見		・義務教育学校の中が分からず、地域の方で不安をお持ちの方がいらっしゃる。先進地視察に、町会長や PTA 会長等、地域の方が参加することはとても大切だと思う。

事業名　教員の英語力向上研修事業　　課名：学校教育課

基本的方向		１　特色ある教育と心の教育の推進
施策		９　教職員の資質・能力の向上
総合計画政策体系	基本目標	４　豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	１　豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
	施策	１　特色ある教育と心の教育の推進
	基本事業	２　教育力の向上
事業概要及び実施状況		○事業概要 　児童生徒の英語によるコミュニケーション能力を養うために、市内の各小学校で英語の指導を担当する教員に対して外部機関と連携した効果的な研修を実施し、英語力・授業力を向上させる。 ○実施状況 ①参加対象　小学校・義務教育学校前期課程の教員　各校１名　計１８名 ②研修方法　外国人講師１人に対し受講生１人による短期集中型のオンライン英会話研修 ③研修期間　夏季休業日の連続した５日間 ①7月２８日（月）～８月１日（金）（計５日間） ②8月　４日（月）～８月８日（金）（計５日間） 受講者が①②のどちらかを選択して参加。 ④研修日程　８：３０～１６：３０（昼休み等の休み時間含む） ⑤内容　受講者の英会話力のレベル（力量・習熟度）を図るテストを行い、そのレベルに合わせた５日間のカリキュラムを編成し研修を実施した。
考察		・５日間、朝から夕方までオンラインで講師とマンツーマンの研修であったため、教員の負担感が強いという課題があった。 ・令和８年度は、夏季休業中に市の ALT による半日の英会話研修を実施する。
委員からの意見		・各学校１名の研修参加は、小規模校には負担が大きいと感じた。教員の英語力を上げ、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力を養うためには必要だと思うが、研修方法や雰囲気を変えて実施することも大切だと思う。

基本的方向２　安全・安心で良好な教育環境の整備

施策１０　市立学校の適正規模・適正配置の推進

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	令和７目標値	主管課
計画に対する設置された義務教育学校の割合	11.1%	11.1%	11.1%	22.2%	22.2%	20.0%	20.0%	学校適正配置課

施策１１　安全・安心で快適な学校施設の整備

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	令和７目標値	主管課
施設の瑕疵による事故件数	0件	0件	0件	0件	0件	2件	0件	学校管理課
修繕依頼のあった学校施設の修繕が完了した割合	71.0%	82.0%	83.4%	85.0%	83.5%	86.1%	100%	学校管理課

施策１２　安全を守り、学びを保障する取組の推進

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	令和７目標値	主管課
交通安全に関する通学路危険箇所の改善率	69.2%	73.4%	75.6%	75.8%	85.9%	83.9%	80%	教育総務課
応急手当普及員全校配置達成率	93.1%	93.1%	93.1%	100%	100%	100%	100%	学校教育課
給食センター起因による異物混入件数※年間200日、1日約8,000食の給食提供のうち	39件	31件	33件	11件	7件	15件	0件	学校管理課

施策１３　教育の情報化の推進と情報セキュリティの確保

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	令和７目標値	主管課
「ICT機器を、意見を交換したり、調べたりするために使用している」と答えた児童生徒の割合	22.0%	41.3%	設問なし	設問なし	設問なし	設問なし	100%	学校教育課

施策１４　学びのセーフティーネットの構築と充実

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	令和７目標値	主管課
進学に伴う経済的な不安が解消される。（市奨学金制度の利用率）	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	教育総務課

施策１５　教職員がいきいきと教育活動に取り組める環境づくり

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	令和７目標値	主管課
ストレスチェック「健康リスク」の総合ポイント（全国平均を 100 として比較）	79.2	77.9	82.5	84.7	80.6	77.1	75 以内	学校教育課
平均の退勤時刻	18:32	18:33	18:24	18:24	18:19	18:14	18:20	学校教育課
時間外在校等時間の平均	49 時間 25 分	49 時間 30 分	45 時間 29 分	43 時間 38 分	42 時間 8 分	40 時間 39 分	45 時間以内	学校教育課

事業名　佐野西中学校区小中一貫校整備事業　　課名：学校適正配置課

基本的方向		２　安全・安心で良好な教育環境の整備
施策		10　市立学校の適正規模・適正配置の推進
総合計画政策体系	基本目標	４　豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	１　豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
	施策	２　安全で安心して学べる教育環境の整備
	基本事業	２　小中一貫校の推進
事業概要及び実施状況		○事業概要 　令和１０年４月開校に向けて、現・西中学校敷地に「かえで義務教育学校」を整備する。 ○実施状況 （１）かえで義務教育学校整備事業 ①整備事業者との設計協議（基本設計協議１２回、実施設計協議１２回） ②西中学校プール等解体工事 （令和７年１２月１日～令和８年６月３０日） ③地域住民対象工事説明会の実施（令和８年２月２１日開催） ④佐野市立西中学校区小中一貫校整備に係るモニタリング業務委託 ・委 託 先　ランドブレイン株式会社 ・契約期間　令和７年４月１日～令和１１年３月３１日 ・契約金額　２３,９０３,０００円（Ｒ７：５,３７９,０００円） ・業務内容　Ｒ７実績：設計業務等のモニタリング支援 （２）開校準備委員会及び専門部会の開催（地域・保護者・学校関係者） ①開校準備委員会（２回開催）：校章（案）、校歌（案）について　等 ②総務部会（２回開催）：校章（案）、校歌（案）について ③通学部会（４回開催）：通学用バスの運行形態等について ④ＰＴＡ部会（２回開催）：ＰＴＡ会費について ⑤学校支援部会（２回開催）：学校支援ボランティアについて　等 ⑥学校運営部会（１１回開催）：日課表、学校行事について　等
考察		・次年度からの建設工事に向けて設計業務が完了できた。 ・校章デザイン、校歌の決定に向けた事務を円滑に進めることができた。
委員からの意見		・学校施設は地域の拠点であるため、地域住民等に説明会を実施したことは大変良かったと思う。今後も工事を進めるにあたっては、その都度、状況等を説明しながら着実に進めていただきたい。 ・財政的な課題に対してもよく検討し、慎重に進めていただきたい。 ・通学路について保護者とよく話し合い、子どもたちに事故や不安がないように、安全に配慮していただきたい。

事業名　城東中学校区小中一貫校整備事業　　課名：学校適正配置課

基本的方向		２　安全・安心で良好な教育環境の整備
施策		10　市立学校の適正規模・適正配置の推進
総合計画政策体系	基本目標	４　豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	１　豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
	施策	２　安全で安心して学べる教育環境の整備
	基本事業	２　小中一貫校の推進
事業概要及び実施状況		○事業概要 　令和１３年４月開校に向けて、現・佐野小学校敷地に佐野市立城東中学校区小中一貫校（施設一体型義務教育学校）を整備する。 〔対象校〕佐野小学校、天明小学校（一部）、城北小学校（一部）、城東中学校 ○実施状況 （１）城東中学校区小中一貫校整備事業 ①佐野市立城東中学校区小中一貫校整備事業者選定に係るアドバイザリー業務委託 ・委 託 先　日本工営都市空間株式会社 東京本社 ・契約期間　令和７年５月１３日～令和９年３月１５日 ・契約金額　２０,４３８,０００円（R７：１２,１８８,０００円） ・業務内容　Ｒ７実績：事業者の募集に係る実施方針の作成支援 ②実施方針の公表（令和８年３月２３日） （２）開校準備委員会及び総務部会の開催（地域・保護者・学校関係者） ①開校準備委員会（２回開催） ・総務部会で選定した校名（案）について ②総務部会（３回開催） ・校名（案）の選定について ※令和８年６月市議会定例会で「学校設置条例の一部改正」の議案を上程し、新しい校名の議決を得る予定。
考察		・次年度における整備事業者選定の道筋ができた。 ・校名決定に向けた事務を円滑に進めることができた。
委員からの意見		・財政的な課題に対してもよく検討し、慎重に進めていただきたい。 ・人間を育むにふさわしい、機能的で快適な環境を整備していただきたい。 ・子どもたちの学習環境や教育環境を確保するため、可能な限り早く事業を進めていただきたい。 ・今後、学校施設の老朽化が問題になってくるため、集約されて新しく整備されることは評価できる。 ・開校前の学習場所等、子どもたちの環境についても配慮して進めていただきたい。

事業名　学校等屋内運動場エアコン設置事業　　課名：学校管理課

基本的方向		2　安全・安心で良好な教育環境の整備
施策		11　安全・安心で快適な学校施設の整備
総合計画政策体系	基本目標	4　豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	1　豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
	施策	2　安全で安心して学べる教育環境の整備
	基本事業	1　安全で快適な学校施設の整備
事業概要及び実施状況		○事業概要 　市立学校等の屋内運動場はエアコンが未設置となっており、近年酷暑化する夏において、児童生徒の健康が守られる教育環境を確保するため、エアコンの設置を行う。（R8 への繰越事業） ○実施状況 　佐野市学校等屋内運動場エアコン設置事業に係る設計業務、施工業務及び工事管理業務等を一括して実施する事業者をプロポーザル方式により選定。 ・佐野市学校等屋内運動場エアコン設置事業 契約上の工期：令和７年１０月１日～令和９年３月３１日 請負業者：飯塚設備工業株式会社 請負金額：１，３２０，０００，０００円 ４７，９１６，０００円（設計業務費） １，２７２，０８４，０００円（工事費） ・業務内容および各業務の履行期間等 ① 設計業務（令和７年１０月２日～令和８年３月３１日） 令和８年３月３１日完了検査実施 ② 施工業務（令和８年４月１日～令和９年２月２８日） ③ 工事監理業務（施工業務に同じ） ④ 総括管理業務（契約上の工期に同じ）
考察		・令和７年度において、佐野市学校等屋内運動場エアコン設置事業に係る設計業務を進め、履行期間内に令和８年度の施工業務実施に必要な「実施設計」を完了した。
委員からの意見		・屋内の体育館の涼しいところで基礎訓練ができることは必要だと思うので、ぜひ早めにエアコンを入れて、子どもたちがのびのびと運動できるように進めていただきたい。 ・学校施設開放や災害時の避難所等の利用を考慮し、運用について検討していただきたい。

事業名　通学路安全対策事業　　課名：教育総務課

基本的方向		2　安全・安心で良好な教育環境の整備
施策		12　安全を守り、学びを保障する取組の推進
総合計画政策体系	基本目標	4　豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	1　豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
	施策	2　安全で安心して学べる教育環境の整備
	基本事業	3　地域ぐるみで行う児童生徒の安全対策の充実
事業概要及び実施状況		○事業概要 　交通安全・防犯・防災の観点から通学路の危険個所の合同点検を実施し、安全対策を講じるために、佐野市通学路安全対策連絡協議会及び下部組織となる佐野市通学路安全対策委員会、安全対策部会を運営する。 ○実施状況 ・通学路安全対策部会①（交通安全対策、防犯対策、防災対策） 期　日：6月２３日（月） 参加者：各部会員（交通安全１１名、防犯１０名、防災９名） 内　容：対策案の検討 ・通学路合同点検 期　日：7月２２日（火）～２３日（水） 参加者：学校関係者、地域住民、各部会員 内　容：現地調査 ・通学路安全対策部会②（交通安全対策、防犯対策、防災対策） 期　日：１０月２日（木）※防犯、防災は書面会議 参加者：各部会員（交通安全１１名、防犯１０名、防災９名） 内　容：合同点検結果に基づく対策案の検討 ・通学路安全対策委員会 期　日：１１月１３日（木） 参加者：対策委員　１８名 （委員長：教育部長、副委員長：教育総務課長） 内　容：対策案の検討、対策状況の報告 ・通学路安全対策連絡協議会 期　日：２月２日（月） 参加者：協議会会員　１７名（会長：市長、副会長：教育長） 内　容：対策方針の決定、対策状況の報告
考察		・通学路における危険個所の把握と安全対策の実施、防犯ブザーの貸与等により、児童生徒の安全確保に努めた。 ・関係機関や関係団体、関係各課と連携し、通学路の安全性向上を図っていく。
委員からの意見		・毎年この事業を行うことはとても大切だと思う。子どもたちの安全のために引き続きお願いしたい。 ・暑さやゲリラ豪雨等を考慮し、子どもたちの安全を確保していただきたい。

事業名　児童生徒有害鳥獣被害防止対策事業　　課名：学校教育課

基本的方向		2　安全・安心で良好な教育環境の整備
施策		12　安全を守り、学びを保障する取組の推進
総合計画政策体系	基本目標	4　豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	1　豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
	施策	2　安全で安心して学べる教育環境の整備
	基本事業	3　地域ぐるみで行う児童生徒の安全対策の充実
事業概要及び実施状況		○事業概要 児童の登下校等におけるクマ等の有害鳥獣から児童の安全を確保する。 ○実施状況 ①クマ撃退スプレーの配布 令和７年１１月１７日に全ての佐野市立学校（２４校）に、クマ撃退スプレーを３本ずつ、合計７２本を配布した。 ②登下校時等の安全確保のためのクマよけ鈴の配布 通学路付近でのクマの目撃情報を受け、緊急でクマよけ鈴を２，０００個確保した。クマの目撃情報に基づき、取り急ぎ、次の学校の全児童生徒分のクマよけ鈴を配布した。 ○赤見地区の小中学校　455 個 （赤見小　125 個　石塚小　105 個　出流原小　45 個　赤見中　180 個） ○あそ野学園義務教育学校　前期課程　500 個　後期課程　295 個 ○葛生義務教育学校　前期課程　165 個　後期課程　85 個 **計1，５００個** （残り 500 個の中から、山から近い学校等、遭遇する可能性を踏まえて配布した。） さらに、３月には上記以外の小・中・義務教育学校の全児童生徒分のクマよけ鈴を配布した。　**計5，６００個**
考察		・クマよけ鈴については、ランドセルにつけて登下校時に活用することができている。さらに、校外学習等でも必要に応じて活用されている。なお、全員へは配布されているが貸与となっているため、卒業時に回収することになる。 ・破損に対しては予備の鈴で対応している。
委員からの意見		・クマよけ鈴を貸与するだけではなく、総合的な学習の時間の中などで、環境や地域の問題点を絡めてクマについて話し合いの場をもつなど、未然防止策として子どもたちと話をすることが大切だと思う。 ・安全対策は常に考えていただきたい。

基本的方向３　教育を支える地域づくりの推進

施策１６　「地域とともにある学校づくり」への体制整備の推進

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	令和７目標値	主管課
コミュニティ・スクール導入学校数	1 校	1 校	1 校	2 校	11 校	18 校	18 校	教育総務課
地域コーディネーター数	28 人	29 人	39 人	39 人	38 人	45 人	38 人	生涯学習課

施策１７　地域との連携・協働のための取組の推進

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	令和７目標値	主管課
学校支援ボランティア登録者数	778 人	899 人	908 人	1,118 人	1,133 人	1,133 人	1,000 人	生涯学習課

施策１８　家庭教育支援の推進

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	令和７目標値	主管課
家庭教育推進講座及び家庭教育出前講座参加者数	44 人	156 人	171 人	126 人	67 人	179 人	780 人	生涯学習課

事業名　コミュニティ・スクール推進事業　　課名：教育総務課

基本的方向		3　教育を支える地域づくりの推進
施策		16　「地域とともにある学校づくり」への体制整備の推進
総合計画政策体系	基本目標	4　豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	2　地域とともに学び育てるまちづくり
	施策	2　教育を支える地域づくりの推進
	基本事業	3　地域の教育力を活かす取組
事業概要及び実施状況		○事業概要 　地域と学校が一体となり児童生徒を育成するコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を順次導入し、「地域とともにある学校づくり」を推進する。 ○実施状況 　学校運営協議会設置校　１８校（小学校１６校、義務教育学校２校） 　学校運営協議会委員　　１１８名 ・ＣＳマイスターによる研修会の実施 ①佐野市学校運営協議会委員研修会 期　日：7月4日（金）１５：００～１６：３０ 参加者：新規に委員となった方、過去のコミュニティ・スクールの研修を受講されていない方、地域コーディネーターやボランティア　等 内　容：「地域と学校の未来を拓く　～学校運営協議会の役割と可能性～」 ②佐野市コミュニティ・スクール研修会 期　日：7月１０日（木）１５：００～１６：３０ 参加者：校長、副校長、教頭、主幹教諭、教務主任、地域連携教員　等 内　容：「学校運営協議会を『活性化エンジン』に！　～地域と共に創る令和の学校運営～」 ・ＣＳアドバイザー派遣　9校１５回 ※ＣＳマイスター：導入しようとする教育委員会や学校等に対してきめ細かな支援や助言を行う。コミュニティ・スクールの導入や実践経験を有する元校長等の教育関係者に委嘱している。 ※ＣＳアドバイザー：コミュニティ・スクールにおける地域と学校の連携・協働を推進する役割を担う。学校運営協議会の活動をサポートし、地域住民や保護者と学校との連携を深めるための助言や支援を行う。
考察		・計画どおりにコミュニティ・スクール導入を進めた。より円滑な運営のため、学校からの希望に応じて、ＣＳアドバイザーを派遣し、学校運営協議会に対して支援を行った。希望する学校、希望しない学校ともに、まだ改善の余地が見られるところもあるため、継続した支援が必要と考える。
委員からの意見		・導入当初だけではなく継続的にＣＳマイスターによる研修会やＣＳアドバイザーの派遣を実施しながら、制度について地域や保護者の理解が深まるよう、支援や周知の方法を検討し進めていただきたい。

事業名　地域学校協働活動推進事業　　課名：生涯学習課

基本的方向		３　教育を支える地域づくりの推進
施策		16　「地域とともにある学校づくり」への体制整備の推進
総合計画政策体系	基本目標	４　豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	２　地域とともに学び育てるまちづくり
	施策	２　教育を支える地域づくりの推進
	基本事業	３　地域の教育力を活かす取組
事業概要及び実施状況		○事業概要 　各地域において子ども、保護者、教職員、地域住民が学び合い高め合える地域コミュニティーを創造するため、次の事業を実施する。 　学校支援ボランティア活動の環境整備を推進するためにボランティア保険に加入する。 　ボランティア同士の交流を促進するため交流研修会を開催する。 　地域コーディネーターを少しでも多くの学校に配置し、更なる活性化を図る。 ○実施状況 ・小・中・義務教育学校から、ボランティア名簿の提出を受け、保険に加入（年間） ・ＰＴＡによる登下校立哨見守り時の交通事故傷害保険への加入（年間） ・ボランティア活動の活性化を図るため、地域コーディネーターを対象に、説明会・情報交換会を開催 （7/29 城北地区公民館，9/3 田沼中央公民館） ・地域コーディネーター養成研修の開催 （6/12 佐野市中央公民館，8/7 マルニ額縁生涯学習センター， 9/16 安蘇庁舎，10/24 足利フラワーパークプラザ）
考察		・令和７年度は、市内小・中・義務教育学校１８校の地域コーディネーターの委嘱をし、ボランティア活動の活性化を図った。今後は、すべての小・中・義務教育学校の地域コーディネーターを委嘱し、地域学校協働本部（学校地域応援団）の支援をしていく。
委員からの意見		・地域コーディネーターとコミュニティ・スクールが連携し、学校と地域が一体となって、地域の教育力の向上に努めていただきたい。

事業名　家庭教育推進講座開催事業　　課名：生涯学習課

<table>
<tr><td colspan="2">基本的方向</td><td>３　教育を支える地域づくりの推進</td></tr>
<tr><td colspan="2">施策</td><td>18　家庭教育支援の推進</td></tr>
<tr><td rowspan="4">総合計画政策体系</td><td>基本目標</td><td>４　豊かな心を育み、学び合うまちづくり</td></tr>
<tr><td>政策</td><td>２　地域とともに学び育てるまちづくり</td></tr>
<tr><td>施策</td><td>２　教育を支える地域づくりの推進</td></tr>
<tr><td>基本事業</td><td>２　家庭教育支援の推進</td></tr>
<tr><td colspan="2">事業概要及び
実施状況</td><td>〇事業概要
　子どもを持つ保護者を対象に子どものしつけ、健康指導、栄養指導等の家庭教育についての講演会を開催し、学習の機会を提供する。また、園、学校や企業等へ出向き、家庭教育に関する講座を開催し、全ての保護者に対し家庭教育について学習する機会や悩みを解決する機会を提供する。
〇実施状況
・家庭教育推進講座「わくわく子育て教室」
<table>
<tr><th>期日</th><th>会場</th><th>人数</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>2/28</td><td>城北地区公民館
ホール</td><td>15</td><td>“Story Time”親子で絵本の読み合い
遊びをたのしもう
～さてお題は？　あたたまろう～</td></tr>
</table>
・家庭教育推進出前講座「わくわく子育てお出かけ教室」
　令和７年度の講座は、保育園・小学校で合計３回実施し、参加者人数の合計は１６４人であった。
<table>
<tr><th>期日</th><th>会場</th><th>人数</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>12/10</td><td>佐野小</td><td>75</td><td>子どもをやる気にさせる言葉かけ</td></tr>
<tr><td>1/23</td><td>さのぶどうの樹保育園</td><td>79</td><td>子育てで大切なことって？</td></tr>
<tr><td>2/6</td><td>多田小</td><td>10</td><td>楽しい小学生生活のために</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td colspan="2">考察</td><td>・家庭教育推進講座については、親子向けに絵本を通じて心の豊かさを育む講座を開催した。今後も、子育て中の保護者の不安を軽減し、家庭教育について学ぶことのできる内容の講座を実施できるよう検討していきたい。
・家庭教育推進出前講座については、新規の場所で開催できた一方で、コロナ禍以前の開催数まで回復させることができていない。PTA 研修会や一日入学などの保護者が多く集まる機会に活用してもらえるように周知すると同時に、開催したことのない団体にも届くような周知方法を検討したい。</td></tr>
<tr><td colspan="2">委員からの意見</td><td>・家庭教育は教育の原点だと思うので、今後も力を入れて実施していただきたい。
・家庭教育推進出前講座は、就学時健康診断や授業参観後の全体会等を活用すれば、もっと多くの学校で実施できると思う。保護者同士が入学する前から交流できる良い機会なので、もっと取り入れていただきたい。</td></tr>
</table>

事業名　放課後子ども教室推進事業　　課名：生涯学習課

<table>
<tr><td colspan="2">基本的方向</td><td>３　教育を支える地域づくりの推進</td></tr>
<tr><td colspan="2">施策</td><td>18　家庭教育支援の推進</td></tr>
<tr><td rowspan="4">総合計画政策体系</td><td>基本目標</td><td>４　豊かな心を育み、学び合うまちづくり</td></tr>
<tr><td>政策</td><td>２　地域とともに学び育てるまちづくり</td></tr>
<tr><td>施策</td><td>２　教育を支える地域づくりの推進</td></tr>
<tr><td>基本事業</td><td>３　地域の教育力を活かす取組</td></tr>
<tr><td colspan="2">事業概要及び
実施状況</td><td>〇事業概要
　地域住民の参画を得て、学校区ごとに放課後子ども教室実行委員会を設置し、放課後子ども教室の運営を委託した。
　放課後子ども教室を開催することにより、子どもの安全で安心な居場所を確保し、子どもたちに様々な体験・交流活動の機会を定期的、継続的に提供した。開催にあたり地域住民が関わることで、地域全体の教育力の向上を図り、地域の活性化や子どもが安心して暮らせる環境づくりを推進した。
　また、放課後子ども教室運営委員会を開催し、市の放課後児童対策について協議し、放課後子ども教室とこどもクラブとの連携した運営の推進を図った。

〇実施状況
<table><tr><th>名称</th><th>開設形態</th><th>実施回数</th><th>参加者数
(1 回平均)</th><th>実施場所</th><th>内容</th></tr><tr><td>いきいき何でも
体験クラブ</td><td>イベント型</td><td>54 回</td><td>513 名
(10 名)</td><td>体育館 他</td><td>ミニバス、
自由遊び 等</td></tr><tr><td>旗川小学校区
放課後子ども教室</td><td>待機型</td><td>13 回</td><td>217 名
(17 名)</td><td>図書館、
空き教室 他</td><td>読み聞かせ、
クリケット等</td></tr><tr><td>石塚小学校区
放課後子ども教室</td><td>待機型</td><td>62 回</td><td>1,535 名
(25 名)</td><td>校庭、
空き教室 他</td><td>縄跳び、
クリケット 等</td></tr><tr><td>多田っ子広場
子ども教室</td><td>待機型</td><td>22 回</td><td>129 名
(6 名)</td><td>空き教室 他</td><td>読み聞かせ、
自由遊び 等</td></tr><tr><td>出流原小学校区
放課後子ども教室</td><td>待機型</td><td>8 回</td><td>46 名
(6 名)</td><td>空き教室 他</td><td>工作、
ベーゴマ 等</td></tr><tr><td>くずう放課後
子ども教室</td><td>待機型</td><td>16 回</td><td>231 名
(14 名)</td><td>空き教室、
図書室 他</td><td>化石みがき、
マラソン 等</td></tr><tr><td>どんぐり
子ども教室</td><td>日常型</td><td>17 回</td><td>100 名
(6 名)</td><td>葛生地区
公民館</td><td>合唱、ミュージックベル　等</td></tr></table>
〇国庫補助事業　国1/3、県1/3、市1/3</td></tr>
<tr><td colspan="2">考察</td><td>・放課後児童対策パッケージにより、放課後子ども教室とこどもクラブを一体的または連携して実施することが望ましいとされている。今後計画的に実施していくために、こどもクラブとの連携を図るための放課後子ども教室運営委員会での協議や、こども政策課と生涯学習課、こどもクラブと放課後子ども教室のスタッフ間の連携を実施していきたい。</td></tr>
</table>

	・今後、小中一貫校の開校が予定されており、現在放課後子ども教室のある校区も含まれるため、教室の設置に関する調査、周知等を行い、小中一貫校の開設に伴う放課後子ども教室の開設の検討を進めていきたい。 ・地域の実情に応じた放課後子ども教室の形態を模索しながら、地域に根ざした「安全で安心な子どもの居場所」を目指した教室となるよう努めていく。
委員からの意見	・放課後子ども教室とこどもクラブを一体的または連携して実施することは、組織的な面でも目的の面でも難しいと思うが、主体は子どもということを第一に、放課後の子ども育成に努めていただきたい。

基本的方向４　生活を豊かにする生涯学習の推進

施策１９　生涯学習の情報や機会の提供

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	令和７目標値	主管課
生涯学習課ホームページへのアクセス数	42,330件	34,659件	32,647件	33,184件	25,335件	25,249件	81,000件	生涯学習課
生涯学習施設の利用者数	349,056人	457,382人	625,802人	743,438人	671,660人	671,666人	1,010,000人	生涯学習課

施策２０　生涯学習の成果を活かす取組の充実

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	令和７目標値	主管課
生涯学習ボランティア（楽習講師等）登録者数	339人	332人	273人	309人	311人	298人	450人	生涯学習課

施策２１　青少年の健全育成の推進

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	令和７目標値	主管課
体験的学習・研修会の参加人数	コロナ禍のため未実施	50人	87人	65人	92人	80人	165人	生涯学習課
学習活動実施団体が企画した事業の参加者数	42人	35人	47人	180人	206人	220人	800人	生涯学習課

事業名　市民大学開設事業　　課名：生涯学習課

基本的方向		４　生活を豊かにする生涯学習の推進
施策		19　生涯学習の情報や機会の提供
総合計画政策体系	基本目標	４　豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	２　地域とともに学び育てるまちづくり
	施策	１　生活を豊かにする生涯学習の推進
	基本事業	１　学習情報及び場の提供

事業概要及び実施状況

〇事業概要

市民が直面する様々な課題の解決や、心の豊かさや生きがいづくりのために、学習機会を提供する市民大学を開設した。

また、市民の生涯学習ニーズに的確に応えつつ、魅力ある講座内容にするため、「企画運営スタッフ」を募集し、市民大学講座の企画運営にあたった。

〇実施状況

中央公民館において３回の講座を開催し、延べ１０９人の参加があった。

学習内容	実施日	参加者数（延べ）
「日中の小説のはなし」	10 月 18 日（土）	27 人
「歴史にみる馬と牛 ―江戸・明治の日本を中心として―」	11 月 8 日（土）	38 人
「和歌の歴史と万葉・古今・新古今」	12 月 13 日（土）	44 人
合　計		109 人

考察

・より多くの方に参加してもらうため、社会情勢に即した内容が求められるほか、市民大学スタッフ数が大きく減少しており、事務局の負担が大きくなっているため、今後も安定して講座を実施するためにはスタッフ数を増やすことが必要である。

委員からの意見

・個人の教養を高める内容が多くなっている。生涯学習としての役割だけでなく、まちづくりや自治会活動、地域の課題の解決を担っていくような人材づくりなど、実践的な講座内容も進めていただきたい。

・直面するさまざまな課題を解決する学習機会という大切な内容ではあるが、個人の興味で選択することとなるため、魅力ある学習内容となるよう努めていただきたい。

事業名　生涯楽習フォーラム開催事業　　課名：生涯学習課

基本的方向		４　生活を豊かにする生涯学習の推進
施策		20　生涯学習の成果を活かす取組の充実
総合計画政策体系	基本目標	４　豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	２　地域とともに学び育てるまちづくり
	施策	１　生活を豊かにする生涯学習の推進
	基本事業	２　学習成果を活かす取組
事業概要及び実施状況		○事業概要 　市民一人一人が生涯を通して学ぶことのできる環境の整備、多様な学習機会の提供、学習した成果が適切に評価されるための仕組みづくりなど、人生１００年時代を見据えた生涯学習社会の実現のため、本市を中心に活躍する元気な団体等の実践事例の発表、情報交換、楽習成果の発表等を行うことにより、生涯学習・まちづくり・地域の人材育成などの発展に寄与することで、人と人とのつながりを強くし、多様な地域社会の形成を目指すことを目的としてフォーラムを開催する。 ○実施状況 　田沼中央公民館において令和８年３月７日（土）～８日（日）にかけて開催し、延べ１，７００人の参加があった。 　７日（土）に開会式典、基調講演、対談、第１・第２分科会を開催した。基調講演では、「変わらぬ祈り変わりゆく時代－地域に誇れる場所を目指す唐澤山神社－」と題し、唐澤山神社宮司の佐野由希子様による講演を行い、その後、佐野様と佐野高校 SG クラブ唐沢山城班との対談を行った。 　第１分科会では、「ひと」をテーマに「だれもがしあわせに暮らしていくために」と題し、コミュニティナースの方などによる事例発表を行った。 　第２分科会では、「まち」をテーマに「地域の笑顔を未来へ人とのつながりを意識した活動を目指して」と題し、町会長の方などによる事例発表を行った。 　８日（日）の楽習フェアのステージ発表では、１１組の講師らが日頃の楽習の成果を披露した。また、両日で楽習フェアの展示・体験部門、静のアート作品展を開催した。
考察		・幅広い年齢層の方、より多くの方に参加してもらうため、社会情勢に即した内容が求められる。
委員からの意見		・大人だけではなく若者も参加しており工夫されていると感じた。一人の声だけでなく、若者を含め、さまざまな方面の声を聴けるような、引き続き楽しいフォーラムとなるよう進めていただきたい。

事業名　青少年活動育成促進事業　　課名：生涯学習課

基本的方向		４　生活を豊かにする生涯学習の推進
施策		21　青少年の健全育成の推進
総合計画政策体系	基本目標	４　豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	２　地域とともに学び育てるまちづくり
	施策	１　生活を豊かにする生涯学習の推進
	基本事業	３　青少年の健全育成
事業概要及び実施状況		○事業概要 　中学・義務教育学校・高校生を対象にボランティア研修会を開催し、子どもに関わるボランティア体験活動の機会を提供する。 ○実施状況 １．ボランティアについて学ぼう①（参加者４０名） ４月２７日(日）１３：３０～　中央公民館 オリエンテーション、ボランティアとは、危険予知トレーニング ２．ボランティア実践「こどもフェスティバル」（参加者２９名） ５月４日(日・祝）８：３０～　こどもの国 ３．ボランティアについて学ぼう②（参加者２８名） ６月２２日(日）１３：００～　市民活動スペース 講話「講師のこれまでの活動内容」 ４．レクリンピック企画・準備（参加者１７名） １０月５日(日）１３：００ ～ 中央公民館 ５．ボランティア実践「レクリンピック」（参加者２０名） １０月１９日(日）８：３０～　　こどもの国 ６．活動の振り返り（参加者２４名） １１月９日(日）９：００～　市民活動スペース 特別講話、これまでの活動振り返り、修了証授与、 講師からのメッセージ
考察		・こどもの国の支援活動を実施し、ボランティアを実際に体験する機会を作ることができた。 ・ボランティア体験の事業は他の団体等でも行っているが、この事業の特色である子どもを対象とした活動であることや活動内容を参加者が考えるということを中学・義務教育学校・高校生に知らせ、参加者増を図りたい。
委員からの意見		・子どもたちが、自己研鑽と社会に役立つという自覚と誇りをもって、ボランティア活動に前向きに取り組んでいて良いと思う。

事業名　青少年相談事業　　課名：少年指導センター

基本的方向		4　生活を豊かにする生涯学習の推進
施策		21　青少年の健全育成の推進
総合計画政策体系	基本目標	4　豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	2　地域とともに学び育てるまちづくり
	施策	1　生活を豊かにする生涯学習の推進
	基本事業	3　青少年の健全育成
事業概要及び実施状況		○事業概要 　青少年やその保護者を対象に、電話や面接による相談業務を実施する。 ○実施状況 　相談の受理件数としては、令和６年度は５件、令和７年度は３件の実績があった。
考察		・令和７年度は相談に対して、助言指導を行い、必要に応じて、関係機関を案内する等の対応を行った。 ・チラシや、広報さのでの相談窓口の周知を行い、必要に応じて、青少年やその保護者への相談を実施する。
委員からの意見		・相談に応対できる体制が常時整っており、いつでも相談できるということは大切なので、今後も努力して続けていただきたい。

基本的方向５　スポーツへの参画の推進と次世代アスリートの育成

施策２２　生涯スポーツの基礎づくりの推進

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	令和７目標値	主管課
総合型地域スポーツクラブの会員数	2,778人	1,047人	1,204人	1,236人	1,210人	2,785人	2,950人	スポーツ推進課

施策２３　次世代アスリートの育成の推進

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	令和７目標値	主管課
関東、全国大会等に出場する個人と団体	12	35	85	115	156	125	130	スポーツ推進課
市スポーツ指導者登録制度への登録者数	－	－	97人	111人	110人	106人	60人	スポーツ推進課

基本的方向６　文化芸術活動の推進

施策２４　文化芸術に触れる機会の充実

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	令和７目標値	主管課
学校訪問事業等実施数	2校	7校	15校	22校	13校	15校	21校	文化推進課

施策２５　文化資源の有効活用

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	令和７目標値	主管課
市内の文化財、郷土芸能を知っている割合（天明鋳物）	69.4%	69.3%	72.5%	72.9%	74.2%	70.8%	77%	文化推進課

施策２６　文化芸術施設の基盤強化

【成果指標】

年度／指標	令和２（2020）	令和３（2021）	令和４（2022）	令和５（2023）	令和６（2024）	令和７（2025）	令和７目標値	主管課
文化芸術施設利用者数	39,474人	79,068人	150,860人	189,563人	67,388人	60,431人	225,000人	文化推進課

基本的方向７　歴史・文化資源、豊かな自然の継承と活用

施策２７　歴史・文化資源の調査と適切な保存・継承・活用

年度 指標	令和２ (2020)	令和３ (2021)	令和４ (2022)	令和５ (2023)	令和６ (2024)	令和７ (2025)	令和７ 目標値	主管課
指定文化財の維持管理、保存修復対策件数	43 件	48 件	48 件	46 件	48 件	51 件	47 件	文化財課

施策２８　歴史・文化資源や豊かな自然への理解促進と人材育成

年度 指標	令和２ (2020)	令和３ (2021)	令和４ (2022)	令和５ (2023)	令和６ (2024)	令和７ (2025)	令和７ 目標値	主管課
小・中・義務学校の学校利用、出前講座での児童生徒数	2,037 人	3,556 人	4,086 人	3,494 人	3,689 人	2,777 人	4,250 人	文化財課

事業名　佐野市遺跡地図作成事業　　課名：文化財課

基本的方向		7　歴史・文化資源、豊かな自然の継承と活用
施策		27　歴史・文化資源の調査と適切な保存・継承・活用
総合計画政策体系	基本目標	2　新たな流れの創造による賑わうまちづくり
	政策	3　歴史・文化を守り育てるまちづくり
	施策	2　歴史・文化資源の保存と継承
	基本事業	1　歴史・文化資源の調査と適切な保存・継承
事業概要及び実施状況		○事業概要 　佐野市域内の埋蔵文化財包蔵地の範囲について、現地踏査・確認を実施し、市域全体をカバーする遺跡地図を作成する。刊本と併せて電子データの作成も行いデジタル化への対応も行う。 令和４～６年度　現地踏査・確認 令和７年度　　遺跡地図作成 ○実施状況 　令和４～６年度に実施した現地踏査の結果を整理・編集し、佐野市全域の遺跡（８７５か所）を盛込んだ『佐野市遺跡地図』３００部を刊行した。また、ホームページにも掲載した。 ・佐野市遺跡詳細分布調査業務委託 契約金額　５，８８０，９６９円（うち消費税額５３４，６３３円） 履行期間　令和７年８月１日から令和８年２月２７日まで 受 託 者　公益財団法人　とちぎ未来づくり財団埋蔵文化財センター
考察		・当初の想定を目標値にしていたが、想定以上の包蔵地が発見された。 ・遺跡地図が作成されることにより、市民・事業者に包蔵地の範囲を明確に示し、適切な対応・指導をすることにより、埋蔵文化財の保護に努めることができる。
委員からの意見		・遺跡地図をデジタル化し、ホームページに掲載してあることは良いことだと思う。今後も有効な活用を図っていただきたい。

事業名　天明鋳物生産用具保存継承事業　　課名：文化財課

基本的方向		7　歴史・文化資源、豊かな自然の継承と活用
施策		27　歴史・文化資源の調査と適切な保存・継承・活用
総合計画政策体系	基本目標	2　新たな流れの創造による賑わうまちづくり
	政策	3　歴史・文化を守り育てるまちづくり
	施策	2　歴史・文化資源の保存と継承
	基本事業	1　歴史・文化資源の調査と適切な保存・継承
事業概要及び実施状況		○事業概要 天明鋳物生産用具は「佐野の天明鋳物生産用具及び製品」として、令和６年３月、国重要有形民俗文化財に指定された。劣化が激しく博物館に寄託できなかったコシキ(鋳鉄用溶解炉）２基の修繕を実施するとともに、今後の生産用具の保管・公開・活用について検討を行う。劣化した生産用具を計画的に修繕する。 ○実施状況 令和７年度はコシキ(鋳鉄用溶解炉）２基のうち１基の修繕を行った。 ・重要有形民俗文化財「佐野の天明鋳物生産用具及び製品」コシキ修繕 契約金額　５，５６０，０４０円（うち消費税額５０５，４５８円） 履行期間　令和７年６月１日から令和８年３月２３日まで 受 託 者　公益財団法人　元興寺文化財研究所 ・通年　天明鋳物生産用具の保管場所の検討のため、先進地の事例等の調査を行った。
考察		・令和７年度は生産用具のコシキ１基を修繕したので、令和８年度に残り１基の修繕を行う。 ・「生産用具」は、県立博物館に寄託し適切に保管しているが、暫定的であるため、市内での保管場所について、展示と活用の計画とあわせて、継続的に施設整備の検討を行う。
委員からの意見		・展示施設の整備の検討をより良い方向に進めていただきたい。

事業名　葛生化石館企画展等開設事業　　課名：文化財課（葛生化石館）

<table>
<tr><td colspan="2">基本的方向</td><td>７　歴史・文化資源、豊かな自然の継承と活用</td></tr>
<tr><td colspan="2">施策</td><td>28　歴史・文化資源や豊かな自然への理解促進と人材育成</td></tr>
<tr><td rowspan="4">総合計画政策体系</td><td>基本目標</td><td>２　新たな流れの創造による賑わうまちづくり</td></tr>
<tr><td>政策</td><td>３　歴史・文化を守り育てるまちづくり</td></tr>
<tr><td>施策</td><td>２　歴史・文化資源の保存と継承</td></tr>
<tr><td>基本事業</td><td>２　歴史・文化資源の理解の促進と地域づくりの推進</td></tr>
<tr><td colspan="2">事業概要及び
実施状況</td><td>〇事業概要
　テーマ毎に掘り下げて知的好奇心を刺激し、収蔵品や他館からの借用品を活用し企画展を実施する。

〇実施状況
<table><tr><th>展　示　会　名</th><th>期　間</th><th>入館者数</th></tr><tr><td>第 19 回新着標本展</td><td>4/1～5/11</td><td>2,469 人</td></tr><tr><td>「洞窟」展</td><td>7/19～11/24</td><td>10,112 人</td></tr><tr><td>第 20 回新着標本展</td><td>1/17～3/31</td><td>3,400 人</td></tr><tr><td>合　　計</td><td>205 日</td><td>15,981 人</td></tr></table>・「第 19 回新着標本展」は、令和５年度後半から令和６年度前半までの間に寄贈された標本を展示紹介した。開催日数３５日間。
・「第 20 回新着標本展」は、令和６年度後半から令和７年度前半までの間に寄贈された標本を展示紹介した。開催日数６１日間。
・「洞窟」展は、自然にできた洞窟のでき方や種類、光の届かない特殊な環境で生息している生き物などを展示紹介した。開催日数は１０９日間。
・年間３回の企画展を開催し、開催日数２０５日間、入館者数１５，９８１人、１日平均７８人であった。</td></tr>
<tr><td colspan="2">考察</td><td>・企画展の入館者数は１５，９８１人で、前年度比６５９人減となった。これは、令和６年度に佐野市観光協会主催事業への協力により来館者数が増加したため、その反動で令和７年度は減少したことが主な要因であると思われる。
・今後も親しみやすく、化石や自然科学に関心を持ってもらい、より多くの方に足を運んでもらえるような企画展を開催していきたい。</td></tr>
<tr><td colspan="2">委員からの意見</td><td>・企画展の開催日数の合計が２０５日と、多く開催しており、よく実施していると思う。
・発想が面白く、子どもたちは興奮しながら見ている。これからも良い発想で、企画展を開催していただきたい。</td></tr>
</table>

その他事業

事業名　教育振興基金積立金　　課名：教育総務課

基本的方向		―
施策		―
総合計画政策体系	基本目標	４　豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	１　豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
	施策	１　特色ある教育と心の教育の推進
	基本事業	１　生きる力の育成
事業概要及び実施状況		○事業概要 　部活動の地域移行の推進や、国際教育の充実等、教育の振興が図られる中、児童生徒が教育を受ける機会を均等に得ることができるよう、教育の振興に資する事業の実施に必要な費用の財源に充当するため、佐野市教育振興基金を設置する。 ○実施状況 ガバメントクラウドファンディングの実施 タイトル　【部活動地域移行応援プロジェクト】 地域でキラめく青春を応援しよう！ 目標金額　１,１００万円 寄付募集期間　令和7年9月3日～１２月1日（９０日間） 支援人数　５５７人 寄付金額　８,３４８,３６６円 達成率　７５．８０％ 寄付金の用途 基金積立　７,５００,０００円 事業充当　８４８,３６６円 内訳　部活動地域移行推進事業費　３４８,３６６円 部活動地域移行推進協議会運営事業費　５００,０００円
考察		・目標金額には到達できなかったものの、多くの寄付を集めることができた。 ・タイトルや紹介記事を工夫し、事業周知に努めたい。
委員からの意見		・部活動地域移行は費用がかかる事業であるため、財源確保についてよく検討し、適切に移行できるように頑張っていただきたい。

事業名　作原野外活動施設指定管理事業　　課名：生涯学習課

基本的方向		―
施策		―
総合計画政策体系	基本目標	4　豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	2　地域とともに学び育てるまちづくり
	施策	1　生活を豊かにする生涯学習の推進
	基本事業	1　学習情報及び場の提供
事業概要及び実施状況		○事業概要 　スポーツやレクリエーションを通して、市民の健康及び体力の向上並びに青少年の健全育成を図るため、作原野外活動施設を市民に提供する。 ○実施状況 開設期間：4 月 15 日～11 月 15 日 提供施設：センターハウス、調理研修棟、宿泊研修棟、体育館、キャンプ場、テニスコート、芝生広場 利用者数：1,937 人（宿泊利用者：762 人、日帰り利用者：1,175 人） ○修繕等の実施状況 作原野外活動施設ボイラー修繕　85,800 円 別館エアコン設置工事　891,000 円 枯れ立木伐採業務委託　187,000 円 天井修繕　488,400 円 渡り廊下修繕　182,600 円
考察		・新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が一時減少していたが、年々戻りつつある。適正な施設管理を行い、利用者に不都合なく安全に利用してもらう。
委員からの意見		・クマの関係が心配ではあるが、修繕をしながら、今後も使えるように管理しているのはありがたいことだと思う。利用者数が増えるように努めていただきたい。

５　全体を通しての意見

（１）令和７年度点検・評価における委員意見から

事業名及び委員意見	担当課	各課の対応等
【コミュニティ・スクール推進事業】 ・今後統合が進む学校に対し、改めて学校運営協議会が設置される場合、ＣＳマイスター、ＣＳアドバイザーによって適切に、手厚く指導していただきたい。	教育総務課	・新規委員や地域コーディネーター、学校の教職員を対象に、CSマイスターを講師として研修会を実施しています。また、各学校における学校運営協議会開催時に、希望した学校へCSアドバイザーを派遣し、支援しています。
【小中学校適正配置推進事業】 ・複式学級のある学校が出てきている。ぜひ事業を進めてほしい。 ・複式学級がある学校について、小中一貫校へ移行するまでの間、学力面への不安や教員不足の課題があるので、サポートがあると良いと思う。	学校適正配置課 学校教育課	・かえで義務教育学校以降も、佐野市立小中学校適正規模・適正配置基本計画(後期計画)改定版に基づき、小中一貫校の整備を計画的に推進いたします。 ・スマイル支援員が授業を受け持つことができるよう、県への要望を行いました。
【学校施設等空調設備整備検討事業】 ・成長期の子ども達が熱中症にならないように、空調設備の充実や健康管理に努めてほしい。 ・猛暑のなかでの体育指導は教職員の苦労が多いと思う。体育館もある程度冷やせれば授業が出来るということなので、ぜひ進めてもらいたい。	学校管理課	・令和８年度は、体育館へのエアコンの設置工事を行っております。６月下旬より順次着工し、２月中に設置完了予定となっております。 ・令和９年度以降、学校体育館は活動内容に適した室温で使用できるようになる見込みです。
【小中学校スクールバス運行事業】 ・スクールバス運行には多額の費用を要し、基準となる距離など難しいところもあるが、保護者が安心して子ども達を学校に通わせられるよう努力してほしい。	学校管理課	・児童生徒が安心して通学できるよう、運行事業者と連携し、安全運転の徹底を図っております。また、学校とも連携を図り、スクールバスの安全運行に努めております。
【ファンガレイ市中学生交流事業】 ・ファンガレイ市は、観光や農業、林業が盛んであるということだが、その一方で、日本では観光や農業、林業に多くの課題がある。子ども達には、日本の課題解決の参考となるようなファンガレイ市の取り組みを学んでもらうと良いと思う。	学校教育課	・日程の６日目に市内観光を予定しておりますが、令和８年度もオークランド博物館を見学する予定です。また、派遣後はオンラインでの交流も行っており、学校紹介や佐野市の観光などの紹介も行っております。今後、農業、林業等についてのテーマで情報交換する等、日本の課題解決の参考となる取組について学べる機会も検討してまいりたいと思います。

事業名及び委員意見	担当課	各課の対応等
【不登校児童生徒支援教室運営事業】 ・不登校の原因は様々なので、今後も努力してほしい。 ・学校に復帰することだけでなく、進学などのアドバイスや社会に出られるようなサポートを引き続きお願いしたい。	教育センター	・不登校等児童生徒にとって、キャリア教育・進路指導は、非常に重要だと考えており、令和７年度は、校外学習で工場見学（カルピス工場・エルモア工場・あわしま堂）を実施しました。また、令和８年度は、佐野日本大学短期大学との連携事業で「小中学生のためのオープンキャンパス」に参加予定です。 ※令和８年度「保護者のひろば」において、中学校卒業後の進路選択について説明する予定
【安全情報共有システム実施事業】 ・新しいWeb システムを導入し、有効に活用することは重要だと考えている。 ・システムを利用することによって、教員・保護者の双方が、子ども達の状況をより的確に把握できるようになると思うので、ぜひ導入・活用を進めていただきたい。	教育センター	・新しい学校Webシステム導入後、各校においては積極的な活用が見られます。特に、令和８年１月にモバイルWi-fiの配付や貸し出しを整備したことにより、校外学習等でのホームページの更新回数が増えています。令和８年度も、情報教育アドバイザーによる活用支援を継続し、ホームページの情報更新等について活用を促進してまいります。
【家庭教育推進講座開催事業】 ・家庭教育は、幼児・子どもの教育の原点であり大変重要である。大切な事業だと思うので、今後も力を入れて実施してもらいたい。 ・家庭教育推進出前講座は、就学時健康診断や1 日入学の時などに予定を合わせて実施できると良いと思う。１箇所でも多くできるような工夫をしてもらいたい。	生涯学習課	・家庭教育の講座については、家庭教育について学習する機会や悩みを解決する機会であるので、引き続き実施していくとともに、開催数増加につながるよう、PTA関係の行事や市HP等を利用して、制度の周知に努めていきます。
【各地区公民館トイレ洋式化等事業】 ・多額の費用を要するが、快適性を向上させるためにトイレの洋式化について推進していただきたい。	生涯学習課	・令和８年度に中央公民館のトイレ洋式化工事を行います。
【街頭補導実施事業】 ・青少年の健全育成のためには、親も遊技場など巡回するような場所を見て、色々考えていくと良いと思う。事業は今後も適正に進めてもらいたい。 ・街頭補導の巡回時に、もし子ども達が人に親切にしたり、良いことをしている所を見かけた場合には、褒めたり励ましたりするなど、注意喚起の視点だけではない声掛けなどを含めて、今後街頭補導を実施してもらえると良い。	生涯学習課 (少年指導センター)	・補導員には教員の他にもPTAや育成会に属する方々も含まれるため、毎回の街頭補導を通じて青少年の健全育成のため、事業を今後も適正に進めていきます。 ・街頭補導中の声かけについては、注意喚起のみならず、時々の状況に応じた声かけを行うことで青少年とのコミュニケーションを積極的に図り、地域への安心感を感じられるようにしていきます。

事業名及び委員意見	担当課	各課の対応等
【唐沢山城跡保存整備事業】 ・より多くの方に情報が届くように、今後も積極的な啓発活動をしてもらいたい。 ・唐沢山城の特別公開のようなものがあると良いと思う。	文化財課	・令和7年度は、講演会にあわせて同会場でパネル展示を行い、唐沢山城跡や保存整備事業に関する情報を発信しました。 ・令和8年度は、講演会や講座を開催するほか、ボランティア団体との協働での子ども向けガイドや、特別コースへのガイドツアーを計画しています。
【天明鋳物生産用具保存継承事業】 ・保管場所や展示場所を検討し、良い活用方法を模索してほしい。 ・他の自治体の取り組みを参考にしていただくことによって、より効果的で興味深いものになると思う。	文化財課	・令和７年度は天明鋳物生産用具の保存・活用に関する調査研究や先進事例の情報収集を行いました。引き続き、令和８年度においても、閉校施設を含めた活用可能な施設の検討や、関係団体の意見を伺いながら、適切な保存及び活用に向けた検討を進めます。

（２）令和８年度点検・評価における委員意見

・施策３　健やかな体の育成に向けた教育の充実「新体力テストの平均得点の全国平均との比較」について
　全国平均との比較もあると思うが、実際に成果が上がったかどうか確認する方法として、佐野市の昨年度と比べて今年度はどうか、という佐野市自体の比較をする方法も検討していただきたい。

・施策12　安全を守り、学びを保障する取組の推進「応急手当普及員全校配置達成率」について
　応急手当普及員の全校配置は評価できる。今後も引き続き取り組んでいただきたい。